

俳 優 明 鑑

市川 鱗 升	市川 蝶 昇	阪東 長 四郎	阪東 調 三郎	阪東 調 二郎	阪東 調 十郎
森 是 伯	山下 安 太郎	上 田 長 吉	高 田 亥 之 吉	薄 倉 丑 松	川崎 甲子 五郎
嘉永五年生	安政元年生	文久二年五月生	同 十一年生	同 十五年三月生	明治十三年十二月生
本所區綠町四ノ二四	本所區小泉町二	淺草區猿若町一ノ五	淺草區田島町四二	府下千住中組五九	芝區愛宕下町一ノ四
尾上 音 藏	尾上 音 平	關 歌 助	關 歌 助	關 歌 助	關 歌 助
齋 田 鐵 五郎	收 野 政 治	香 川 甚 三郎	香 川 甚 三郎	香 川 甚 三郎	香 川 甚 三郎
萬延元年七月生	明治十一年二月生	天保七年生	天保七年生	天保七年生	天保七年生
日本橋區久松町三五	日本橋區濱町一ノ三	淺草區新福井町二四	淺草區新福井町二四	淺草區新福井町二四	淺草區新福井町二四
市川 鴈 八	山 本 金 次郎	伊 藤 榮 藏	伊 藤 榮 藏	伊 藤 榮 藏	伊 藤 榮 藏
萬延元年八月生	明治十四年四月生	明治十四年四月生	明治十四年四月生	明治十四年四月生	明治十四年四月生
深川區西六間堀町四九	神田區旭町一六	神田區旭町一六	神田區旭町一六	神田區旭町一六	神田區旭町一六

歌 舞 伎 俳 優

市川 柿 太郎	中村 龜 十郎	市川 龜 代	岩 井 かな め	中 村 歌 玉	阪東 勝 之 助
木村 清 兵 衛	田 島 龜 太 郎	清 田 龜 太 郎	木 村 政 吉	勝 又 文 太 郎	横 井 長 太 郎
同 二十四年生	元治元年七月生	明治二十五年七月生	同 二十七年十月生	文久二年生	明治元年六月生
京橋區新富町三ノ五	下谷區龍泉寺町三七二	本所區長岡町五四	下谷區徒士町三ノ六五	下谷區金杉下町八三	赤坂區表町二ノ七
尾上 横 三郎	澤 村 淀 五郎	尾 上 横 藏	尾 上 横 藏	尾 上 横 藏	尾 上 横 藏
大 木 龜 三郎	紀の國屋方へ照會	矢 内 幸 太 郎	矢 内 幸 太 郎	矢 内 幸 太 郎	矢 内 幸 太 郎
明治二十一年八月生	明治六年八月生	明治六年八月生	明治六年八月生	明治六年八月生	明治六年八月生
京橋區新富町三ノ八	日本橋區元大工町一三中村方	日本橋區元大工町一三中村方	日本橋區元大工町一三中村方	日本橋區元大工町一三中村方	日本橋區元大工町一三中村方
市川 團 四	中 村 竹 次	尾 上 大 五郎	尾 上 大 五郎	尾 上 大 五郎	尾 上 大 五郎
小 川 忠 孔	柳 牧 野 五郎 三郎	市川 團 童	市川 團 童	市川 團 童	市川 團 童
明治十年十月生	同 十九年十月生	同 十一年三月生	同 十一年三月生	同 十一年三月生	同 十一年三月生
京橋區南八丁堀一ノ六	神田區五軒町一四村井方	淺草區馬道町七ノ五	淺草區馬道町七ノ五	淺草區馬道町七ノ五	淺草區馬道町七ノ五
京橋區南八丁堀一ノ六	神田區五軒町一四村井方	淺草區馬道町七ノ五	淺草區馬道町七ノ五	淺草區馬道町七ノ五	淺草區馬道町七ノ五

俳 優 明 鑑

尾上多賀之丞	市川玉藏	中村種九	市川麗之助	市川麗藏	市川麗三郎	市川麗童	市川宗三郎	市川宗太郎	阪東鶴藏	澤村鶴之助	中村鶴若
尾上市太郎	坂井幸吉	岡本龜次郎	西脇保太郎	星野一雄	小林正英	阿部銚三郎	松本八十吉	服部惣太郎	關戸輝之助	近藤時太郎	青山繁次郎
明治七年十二月生	明治七年十二月生	同十六年七月生	明治二十二年二月生	同二十三年九月生	同二十三年十一月生	同十六年五月生	明治四年九月生	明治四年九月生	明治九年三月生	同十九年十月生	文久元年十一月生
日本橋區濱町二ノ一七	本所區綠町三ノ四二	淺草區千束町二ノ二九八	麴町區上六番町六	芝區三田松坂町三六	府下瀧ノ川字西ヶ原一〇二八	京橋區木挽町三ノ二三	埼玉縣浦和町二四横山茂進方	淺草區千束町一ノ一〇五	淺草區田島町一〇三	淺草區千束町二ノ二五二	淺草區北松山町八六

歌 舞 伎 俳 優

中村成三郎	中村成藏	中村成次	市川七百太郎	中村成次郎	市川樂三郎	市川雷五郎	尾上梅助	尾上梅十郎	尾上梅之助	中村梅花
保々貞重	石田作太郎	大貫長之助	西素武	伊藤庄三郎	福田豐三郎	山本秀三郎	鈴木大助	深川淺次郎	美壽見六三郎	伊勢種正
安政元年三月生	明治十五年生	同七年十月生	同四年六月生	同二十二年生	明治三年八月生	同二年十月生	元治元年二月生	明治四年生	同二年十月生	同三年四月生
淺草區小島町七三	淺草區福富町二八	下谷區徒士町一ノ六九	麻布區笹筒町六	淺草區山中衣裳店裏	下谷區徒士町三ノ七	淺草區地方今戸町一三三	京橋區築地三ノ一	本所區南二葉町五	日本橋區大傳馬町三二	神田區五軒町一六

俳 優 明 鑑

阪東羽三郎	鈴木松五郎	明治二十九年三月生	神田區東龍閑町一六
澤村宇十郎	濱田庄次郎	五十歲位	淺草區千束町二ノ二三七
中村 翫三	大熊 又吉	明治二年三月生	下谷區入谷町六六
市川國五郎	都川正三郎	同 十年一月生	淺草區高原町九
岩井 象藏	岡田 熊吉	安政三年十月生	本所區松井町三ノ一〇
市川栗二郎	高山菊次郎		本所區外手町二一
市川 栗三	三橋 盛爲	安政五年八月生	下谷區入谷町二三四
阪東大和藏	山本仙三郎	明治二十年生	本所區向島須崎町二四五
阪東大和平	今井 柳平	同 十六年六月生	麻布區谷町五三
實川八百藏	實川楠之助	同 十三年生	本所區綠町飯田方
尾上 松藏	小松 惣藏	明治十一年十月生	本所區北二葉町三〇
片岡 松江	高野直次郎	同 八年七月生	神田區宮本町一六

歌 舞 伎 俳 優

尾上 元治	高橋 元治	明治十四年三月生	京橋區西紺屋町二
尾上幸次郎	柳瀬 葛三郎	明治十七年一月生	京橋區桶町九
尾上五郎	牧野五郎四郎	同 三十二年一月生	淺草區馬道町七ノ五
市川 紅若	榎本米次郎		本所區小泉町四
市川 紅車	大和田伊太郎		横濱市日出町三ノ八三
阪東あやめ	佐久間 鎌太郎	慶應二年生	淺草區馬道町一八ノ一
中村 荒藏	海間 半次郎	文久三年十二月生	本所區中ノ郷原庭町二六
澤村 有平	本田 久吉	明治二年生	淺草區象潟町二
尾上朝太郎	山田 辰吉	同 三十一年二月生	下谷區二長町一
市川 咲太郎	松井金十郎	文久三年四月生	淺草區松葉町五六
阪東 三藏	矢村 甚吉	明治十四年生	下谷二長町五〇守田方

俳 優 明 鑑

市川左傳次	市川左門次	澤村紀升	阪東橋藏	阪東橋助	中村吉次	市川錦車	阪東橋丸	澤村其答	澤村菊之助	阪東橋之助	市川鬼十郎	市川鬼代内	市川鬼太郎
川口三太郎	瀧美銀次郎	市川増壽	駿河寅吉	山田止次郎	小田健仁	高山長三郎	野上銀次郎	鈴木福太郎	稻垣徳三	萩野金次郎	岡山半次	淺間龜吉	
淺草區壽町一	横濱市横濱座前	日本橋區箱崎町四ノ一	淺草區小島町一九	京橋區南紺屋町三	下谷區龍泉寺町二二	本所區千歲町四六武田方	日本橋區南茅場町二一	京橋區鍋町二三	本郷區駒込動坂下一一九	神田區猿樂町二ノ四	淺草區馬道町七ノ一	本郷區湯島天神町二ノ二〇	淺草區馬道町五ノ九中川方
明治十四年一月生	同 三年十二月生	同 十五年四月生	同 二十三年三月生	同 十九年九月生	同 二十七年二月生	同 十五年生	明治二十三年五月生	慶應二年一月生	明治二十一年二月生	同 八年二月生			

歌 舞 伎 俳 優

澤村紀作	中村吉彌	澤村紀久代	市川鬼若	阪東喜の字	中村吉丸	阪東橋咲	尾上菊松	中村吉五郎	尾上菊四郎	阪東橋十郎	嵐峰藏	阪東三喜松	阪東三津丸
神谷新吉	高山米吉	柴田長吉	和井田市太郎	淺井壽太郎	内田徳次	鈴木彦松	福島孝吉	福原清吉	小島多吉	阪東舞八	大石伊勢次郎	阪田芳三	小林彌太郎
嘉永四年十月生	明治二十年十月生	同 十年二月生	同 二十三年一月生	同 五年七月生	同 三十四年四月生	文久三年一月生	明治二十年三月生	同 十六年四月生	明治二年一月生	嘉永二年二月生	明治二十一年十二月生	同 二十七年二月生	
淺草區千束町二ノ四八四	淺草區西鳥越町二	淺草區千束町一ノ六一	淺草區田町一ノ二四	京橋區靈岸島宮島町七	淺草區小島町二	淺草區小島町五	本所區須崎町一三〇	本所區若宮町三	淺草區象潟町一	下谷區竹町一二、二三號	本郷區湯島天神町一ノ七	本郷區湯島天神下同朋町一八	京橋區新富町四ノ四

俳 優 明 鑑

市川三壽之丞	豐田仙之助	下谷區徒士町一ノ五九
阪東市家三郎	山田金太郎	明治四年二月生
阪東壽五郎	古瀬米次郎	文久三年九月生
市川新次郎	兼光 恕才	明治十一年十二月生
片岡十兵衛	鈴木勘次郎	同 十四年一月生
市川笑猿次	中島秀次郎	同 二十七年三月生
尾上鐘次郎	千代田宗次郎	同 二十五年七月生
尾上鐘三	高橋清一郎	同 二十四年六月生
阪東市家之助	長谷川君次郎	同 二十三年八月生
市川壽之助	豐倉寅太郎	同 十年五月生
中村新若	矢野新七	同 二十五年八月生
中村芝壽	上田龍三郎	同 十八年生
阪東薪左衛門	瀬古市太郎	嘉永六年十二月生
中村兒雀	中村鳩平	明治二年三月生
		本郷區元町二ノ六〇
		淺草區千束町二ノ三三〇
		日本橋區蠣殼町二ノ一五
		深川區富吉町二九
		神田區三崎町三ノ一
		本所區小泉町一一
		赤阪田町尾上梅幸宅
		淺草區小島町一九
		下谷區三輪町三一
		淺草區今戸町二五岩城方
		神田區東紺屋町一三
		下谷區萬年町一
		深川區洲崎辨天町一ノ六

歌 舞 伎 俳 優

市川心やこ六	原田米吉	嘉永五年十一月生	本郷區湯島天神坂下町一ノ六〇
市川新平	天野銀次郎	明治二十二年七月生	赤阪區新町二ノ二三
尾上雀藏	菅吉次郎	同 元年十二月生	淺草區光月町一ノ一號
尾上雀次郎	豐田榮三郎	同 二十年六月生	神田和泉町一ノ七號
中村芝鳥	阪本彌三郎	同 年十二月生	芝區宇田川町七
尾上松鶴	篠原武八		本所區吉田町四
中村重雀	後藤福次郎	安政二年一月生	本所區番場町三
片岡市女藏	田中正三郎	明治十四年一月生	淺草區榮久町二八
阪東十三郎	濱島貞藏		本郷區湯島天神町一ノ七
市川蕙堂	伊藤耕作	明治十四年三月生	京橋區銀座一ノ一三田口方
澤村百之助	黒木又太郎	明治十九年生	芝區濱松町一ノ一五
市川百太郎	佐藤重雄	同 十四年一月生	淺草區元町二八
市川彦六	田邊岩次郎	慶應三年一月生	

歌 舞 伎 俳 優

中村助八

志村英太郎

明治二十九年十二月生

京橋區木挽町一ノ一一青木方

俳 優 明 鑑

市川百々次 毛

前田兼太郎 部

明治八年生

日本橋區蠟殼町二ノ一〇

澤村門之助

小林力三郎

文久二年十月生

日本橋區吉川町四

市川茂利太郎

厚河次郎

明治十七年十二月生

芝區四國町二ノ一〇六

阪東守之助

永野勝男

同十七年九月生

京橋區弓町四

市川桃太郎

杉村源藏

同二十一年三月生

深川區西大工町二四

澤村千子 廿

静千之助 部

萬延元年十二月生

日本橋區久松町一一

澤村清子

物部清次郎

明治四年六月生

淺草區千束町一ノ一〇六

尾上扇二

三田禎藏

文久元年八月生

日本橋區濱町二ノ一一

岩井扇吉

高橋胞衣吉

明治十七年十二月生

下谷區二長町一三

尾上扇次郎

西村龍之助

慶應元年十二月生

日本橋區浪花町一六

中村助藏 す

五味萬次郎 部

文久二年七月生

淺草區新旅籠町一二

中村助兵衛

龜山垣雄

明治三十六年十月生

淺草區松葉町二二

新派俳優之部

(其二)

俳	優	明	鑑
池田 富雄	伊藤 庄次郎	伊 村 茂	遠 藤 文 夫
長 野 富 吉	藝名に同じ	同	遠 藤 文 三 郎
生年月日	嘉永五年一月生	明治十六年一月生	同 十 二 年 生
現 住 所	下谷區三ノ輪町一〇	本所區松倉町一ノ四三	品川新宿四六
		本所區相生町五丁目金子肉店內	神田區錦町一ノ一
		淺草區新旅籠町二八	淺草區象潟町五
		日本橋區箱崎町四ノ一	日本橋區濱町三ノ三
			同 十 四 年 生
			同 十 八 年 生
			同 十 九 年 十 一 月 生
			同 十 六 年 八 月 生
			同 十 一 年 生
			同 十 八 年 十 月 生
			同 三 十 年 生

新	派	俳	優
花岡 美城男	阪 東 一 藏	春 本 清 吾	阪 東 勝 代
官林 慶次郎	大宮 豊三郎	藝名に同じ	中 澤 かつ
同 十 六 年 八 月 生	同 十 一 年 生	同 十 八 年 十 月 生	同 三 十 年 生
日本橋區榮町五	淺草區茶屋町五	神田區猿樂町一ノ三五	本所區龜澤町魚源方
		淺草區小島町七三	本所區番場町二四
			本所區駒込神明町三四四
			本所區元町二ノ六六
			本所區千歲町一六
			日本橋區新泉町二
			淺草區千束町三新道路
			慶應元年生
			明治二十一年九月生
			同 十 七 年 一 月 生
			明治十四年二月生
			同 十 七 年 一 月 生
			藝名に同じ
			木 南 讓
			奥 勘 次 郎
			本名同じ
			岡 本 貞 二 郎
			東 明 二 郎
			近 藤 茂 藏
			千 坂 三 郎
			奥 田 靜 夫
			岡 本 貞 二 郎

俳 優 明 鑑

大貫清右衛門	川崎猛夫	河原市松	金子彌太郎	河村	横濱太郎	吉澤美之助	高井清	高木升次郎	立花貞次郎	高木和一郎	田中正春
か	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
同	田中倉吉	河原淺太郎	金子彌吉	同	大和田善太郎	同	西井利三郎	同	同	同	田中正太郎
上	同	同	上	上	上	上	上	上	上	上	上
明治十八年十二月生	明治二十四年一月生	同 六年四月生	同 六年四月生	同 元年四月生	明治六年十月生	同	明治九年二月生	同 四年七月生	同 二十七年生	同 二十二年六月生	同 十一年生
本郷區湯島天神町二ノ一〇	下谷區東黒門町二	横濱市長島町一ノ七	日本橋區蠣殻町二ノ八	神田區松枝町二五	下谷區上根岸町一	淺草區千束町二ノ四一三	神田區東松下町六	淺草區新旅籠町一	神田區雉子町三〇	本所區番場町三	

新 派 俳 優

谷昇	高橋鶴江	高岡新太郎	竹島文吾	立花清	多知花美昌	南郷清次郎	中村若之助	中村新馬	長房雄	村田貞次	村井丑六郎
寅	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部	部
寅谷徳之助	同	同	山本金太郎	石原久一	相澤技昌	同	根岸若之助	高橋瀧次郎	藤倉熊次	村田貞吉	村井丑六
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
同 八年九月生	同 十五年十月生	同 三年九月生	同 二十三年三月生	同 十五年六月生	同 十三年一月生	同	明治十七年生	明治二十一年五月生	同 十三年三月生	明治十七年八月生	同 三年六月生
淺草區北三筋町四六	本郷區湯島六ノ一三	下谷區中根岸町九〇北村方	下谷區入谷町三八二	淺草區須賀町一九福西方	淺草區北松山町二六	日本橋區濱町三ノ三南四六號	淺草區馬道町六ノ七	本郷區根津相染町一七	下谷區入谷町三七五	深川區西森下町二八	本所區中ノ郷瓦町一六

俳 優 明 鑑

梅村重雄	渡邊正雄	明治二十五年生	淺草區森下町櫻田方
山崎重近	山崎重次郎	明治十三年七月生	淺草區北清島町七七
松下義雄	同	明治九年三月生	淺草區猿若町一ノ一五
松浦柳葉	松浦宗彦	同十五年三月生	淺草區駒形町四八谷口方
松岡登	松村則順	同元年七月生	本郷區湯島四ノ七
松下彦太郎	同	同十年八月生	淺草區榮久町一二
松尾仁	同	同二十四年十月生	芝區愛宕下町二ノ三
松尾次郎	同		下谷區南稻荷町四九
卷野憲次	高橋佐造		下谷區二長町四二
福住春之助	富田堅吉	明治二十年生	日本橋區新柳原河岸二號
福岡貞吉	高橋貞吉	同二十四年生	下谷區中根岸町六三
藤村秀夫	小倉秀吉	同二十二年八月生	本郷區湯島天神下同朋町一

新 派 俳 優

福田室之助	越上桃之助	同十八年五月生	日本橋區新材木町一八
藤本清之輔	松本清太郎	同二十六年十二月生	下谷區三橋町五
藤川宗太郎	大矢市次郎	同二十七年二月生	淺草區馬道町七ノ五
藤野秀夫	島田卯平	同十一年五月生	京橋區采女町二九
近藤登記葉	近藤時太郎	明治十九年十月生	淺草區千束町二ノ二五七
小堀誠	堀江鎌太郎	同十八年三月生	府下荏原郡大井村安田屋
小水野成美	大野隆一		橫濱座出勤
小松尾繁	菅沼救助		淺草區千束町一ノ二六
寺島倉次郎	藝名に同じ		神田區和泉町一
新井淳	藝名に同じ	明治二十年十一月生	藤澤淺次郎方
愛田景龍	毛田景助	同十六年生	淺草區老松町一一
淺尾辰之助	小番井辰之助	同十二年生	下谷區谷中初音町

俳 優 明 鑑

東 二 郎	青木千八郎	有田松太郎	佐藤芳雄	紳士行	三澤新二	櫻木猛	境若狹	木村清	菊地重成	雪岡光次郎
澁谷常吉	同上	同上	佐藤林太郎	藝名に同じ	荒川清太	青柳實	金子仙之助	肥間實	菊地重吉	行岡光次
同 二十二年十一月生	同上	同上	明治十三年六月生	同 十九年十一月生	同 十四年十一月生	同 十四年三月生	同 四年生	明治十六年一月生	同 六年八月生	明治十年五月生
淺草區芝崎町一四	牛込區神樂坂千松葉内	赤坂區新町三ノ一七	神田區臺所町一〇	府下豐多摩郡角筈七八	四谷區東信濃町九	赤坂區田町五ノ一七	淺草區花川戸町	日本橋區中洲町四四	淺草區千束町二ノ二二六	日本橋區蠣殼町三ノ二後藤方

新 派 俳 優

宮崎正彌	美野部金彌	宮永一雄	都梅水	穴戸熊介	白井浩一郎	森操	森田信次	千崎五郎	千田三郎	鈴木雪夫
藝名に同じ	美野部金太郎	近藤作太郎	宮下調之助	藝名に同じ	同	林大吉	藝名に同じ	岡崎重右衛門	佐野直吉	藝名に同じ
同 十八年十月生	同 十九年生	同 十六年生	同 十一年生	明治十四年一月生	同 十四年四月生	明治四年生	同 十一年九月生	明治十八年三月生	明治十二年生	明治十二年生
日本橋區浪花町一〇	本所區松代町三ノ三	淺草區小島町四三	淺草區森下町三〇	日本橋區蠣殼町二ノ六	淺草區千束町一ノ八九	本所區押上町二〇五	淺草區北三筋町五六	京橋區築地一ノ三	京橋區日吉町二〇力ノ家方	淺草區門跡横

文 士 俳 優

▲順不同

明治五年生

岡	栗	荒	岡	杉	田	梨
鬼太郎	島	川	本	本	村	尾
	狹衣	重秀	綺堂	阿彌	西男	半湖
岡	栗	同	岡	杉	同	名
嘉太郎	島山之助	上	本敬二	謙一郎	佐一郎	鹽

「下」一、二七五

麻布區西町二三
 京橋區銀座四ノ二
 麻布區北門前町五
 麴町區元園町一ノ一九
 麻布區新網町一ノ二七
 上野公園三宜亭方
 京橋區木挽町二ノ三

これは毎日派に属する文士俳優諸君也、此外早稻田派等多くあれ
 と茲に略す他日第二版發行の際には是等諸君に乞うて其肖像及び筆
 蹟等も掲載すべし。

女 優 之 部

藝 名

本 名

▲順不同

現 住 所

松	岩	中	市	澤	市	市	岩	巴	市
本	井	村	川	村	川	川	井	川	川
錦	米	千	鯉	紀	左	左	象	小	桂
絲	花	升	喜之助	久八	若八	次八	壽	好	八

岩	山	江	江	山	竹	米	根	平	今
井	中	川	原	本	内	津	岸	井	井
千	は	は	さ	あ	わ	け	こ	ッ	ゑ
代	な	る	く	り	か	ん	う	子	い

神田區猿樂町四
 本郷區湯島五ノ七
 神田區猿樂町二ノ一
 神田區駿河臺鈴木町一六
 牛込區揚場町一二
 府下南葛飾郡西小松新岡野方
 神田區猿樂町二ノ三
 淺草區千束町二ノ三六四
 下谷區西町一一
 京橋區桶町七

宮下	鈴木	市川	敷島	山口	尾上	若柳	坂東	松本	藤村	岡本	市川	市川
信子	歌子	菊子	紫嬢	定子	梅代	燕嬢	鶴壽	錦繪	鶴枝	梅子	門助	染八
同	同	守住	西田	藝名に同じ	榎本	小俣	杉林	中島	岡本	細淵	金刺	
		きく	とく		愛子	てゆ	ツカ	さく	梅子	かめ	さく	
上	上	く	く		子	う	カ	く	子	め	く	

神田區三崎町三ノ一
 牛込區五軒町三二
 下谷區二長町二四河邊方
 下谷區上車坂町六九
 四谷區本村町七九
 神田區錦町五
 神田區宮本町一六
 下谷區上根岸町八〇、八田方
 本郷區湯島天神町三ノ六
 下谷區上野櫻木町四
 芝區愛宕下町四ノ一
 同

大阪歌舞伎俳優名鑑

都小	扇成	萬松	三高	梅伊	家高	俳屋
村若	駒若	島呂	砂崔	丹猿	島升	名號
嵐	中村	片岡	中村	嵐橋	市川	藝名
巖	雁次	仁左衛門	梅玉	三郎	齋入	名
笑	郎	門	玉	郎	入	名
						(本名)
						(師匠或は父名)

市川右團次
 四代目小團次の長男
 天保十四年生
 南區竹屋町二九〇

佐野橋三郎
 嵐璃寛門人
 天保十年生
 南區高津生玉町二二〇

笹本徳教
 初代中村玉七の門人
 天保十二年生
 南區清水町六八

片岡秀太郎
 八代目仁左衛門の次男
 安政四年生
 南區高津町十番町二

林玉太郎
 三代目鴛雀の二子
 萬延元年生
 南區玉屋町七

(在京中は淺草區左衛門町一番地)

北村
 嵐璃寛の門人
 安政六年生
 南區千代町八幡南へ入る

音羽屋 尾上多見之助
 吾妻屋 嵐三五郎
 加賀屋 中村玉七
 葉村屋 嵐徳三郎
 京屋 中村芝雀
 高砂屋 中村福助
 播磨屋 市川市藏
 三河屋 市川荒五郎
 高島屋 市川右團次

以上大名題

吉川鶴之助 多見藏門人
 中村宗次郎門弟
 梅玉の門人
 淺川岩五郎 嵐璃寛の養子
 中島笑太郎 中村雀右衛門養子(璃笑の實子)
 中村梅玉の一子
 阿部 阪東壽三郎門人
 伊藤右之助 市川齋入の一子
 文久二年 南區南綿屋町
 嘉永二年生 南區笠屋町六九
 文久二年生 南區高津町十番町三三〇
 明治四年生 南區笠屋町四
 明治八年生 南區難波新地五番町四四五
 明治七年生 南區清水町六八
 南區八幡町六ノ内三七
 南區坂町六九
 明治十四年生 南區竹屋町二九〇

松島屋 片岡我童
 蘆島燕 實川延二郎
 井筒屋 嵐珊瑚郎
 末廣屋 實川延三郎
 延筒賞 實川延三郎
 豐島香屋 嵐璃瑤
 佳島香屋 嵐吉三郎
 岡島屋 嵐吉三郎
 桂華屋 中村成太郎
 秋華屋 尾上卯三郎
 音羽屋 中村傳五郎
 荒川屋 中村傳五郎

以上名題

中村 東吉 十代目仁左衛門長男
 天星庄右衛門 實川延若の一子
 眞田百太郎 中村宗十郎の門弟
 延若の門人
 大江 瑤藏 初代目瑤瑤の門人
 福田 彦一 中村雀右衛門の門人
 岩本榮次郎 中村傳次郎門人
 尾上多見藏門人
 先代芝翫の門弟
 明治十五年生 南區宗右衛門町八三
 明治十年生 南區鰻谷心齋橋筋西ノ町八一
 嘉永四年生 南區會根崎上四丁目二五七
 文久二年生 南區かじや町三寺筋南入る四〇
 嘉永二年生 難波新地五番町一八七
 明治八年生 西區北堀江下二ノ一八一
 明治八年生 南區笠屋町七
 萬延元年生 南區瓦屋町四番町八
 天保十年生 南區久左衛門町四ノ三

松島屋 勢島屋 井筒屋 高島屋 川崎屋 松廣屋 小松屋 成田屋 高島屋 成駒屋

片岡 我藏 片岡左衛門 實川菊次郎 市川右田作 市川權三郎 片岡愛之助 片岡太郎 尾上卯十郎 市川福之助 林長三郎

仁左衛門門人 柳原藤吉 仁左衛門門人 市川齋入門人 長谷幸太郎 歌舞伎座茶屋武田屋の悴 北村大五郎 仁左衛門門人 高原虎太郎 仁左衛門門人 桑原金三郎 卯三郎門人 市川右團次門弟 藝名に同じ 中村鴈次郎一子

南區炭屋町一六九 明治七年生 南區久左衛門町八ノ三三 南區西橋町四二 南區壘屋町三八ノ二四 明治十四年十一月生 南區鹽町一ノ一七〇 明治十三年生 南區炭屋町 明治二十三年生 南區堺筋清水町東入ル 慶應元年生 明治十八年生 南區竹屋町二九八 明治二十六年生 南區玉屋町

八幡屋 三河屋 市河屋 綠屋 富田屋 小紅玉屋 眼松屋 若松屋 佐海屋

以上中名題
黒谷市藏 市川團藏 片岡松之助 嵐廣三郎 市川市十郎 片岡長太夫 中村駒之助

黒谷梅三郎 先代實川八百藏門人 市川九藏 六代目團藏の養子 西澤幸次郎 仁左衛門門人 富田廣三郎 嵐團之助實子 市村福太郎 尾上多見藏門人 上田梅吉 仁左衛門門人

萬延元年生 南區高津 天保七年生 南區大寶寺町中橋筋南へ入る 明治元年生 南區三軒家下の町一六三 明治十一年生 南區島の内太左衛門町南詰 天保八年生 南區千代町四十一 文久三年生 南區笠屋町

明治初年以來之死歿者

俳 優 明 鑑

- | 藝名 | 死 | 歲 |
|-------------|-----------|------|
| ▲世六 河原崎權之助 | 元年七月二十三日死 | |
| ▲世三 關 三十郎 | 二年十二月十八日死 | 六十六歲 |
| ▲世六 市川 團藏 | 三年十月二十二日死 | 七十二歲 |
| ▲坂東篁之助 | 五年七月三十日死 | 四十三歲 |
| ▲世五大 谷 廣次 | 六年二月一日死 | 四十一歲 |
| ▲世五大 坂東三津五郎 | 六年五月十一日死 | 二十八歲 |
| ▲瀬川路之助 | 六年九月十一日死 | |
| ▲岩井紫若 | 六年十月五日死 | 三十歲 |
| ▲世四 坂東龜藏 | 六年十一月十四日死 | 七十四歲 |
| ▲市川白猿 | 七年七月十二日死 | 四十二歲 |
| ▲中村仲太郎 | 八年三月十日死 | |

歌舞伎派

- | 藝名 | 死 | 歲 |
|-----------|------------|------|
| ▲尾上菊次郎 | 八年六月十二日死 | 六十二歲 |
| ▲世五 坂東彦三郎 | 十年十月十三日死 | 四十六歲 |
| ▲世三 澤村田之助 | 十一年七月七日死 | 三十四歲 |
| ▲世五 市川門之助 | 十一年九月十二日死 | 五十八歲 |
| ▲市川女寅 | 十二年五月八日死 | 二十六歲 |
| ▲世三 中村翫雀 | 十四年二月三日死 | 四十一歲 |
| ▲中村歌女之丞 | 十四年三月二十二日死 | 五十二歲 |
| ▲澤村源平 | 十四年四月十三日死 | 十四歲 |
| ▲市川團四郎 | 十四年七月四日死 | |
| ▲世八 岩井半四郎 | 十四年二月十九日死 | 五十四歲 |
| ▲市川新十郎 | 十四年六月二十日死 | |

明治初年以來之死歿者

- | | | |
|------------|------------|------|
| ▲尾上梅三郎 | 十四年七月十日死 | 三十一歲 |
| ▲澤村門之助 | 十六年七月死 | |
| ▲市川壽美之丞 | 十八年六月三十日死 | |
| ▲中村相藏 | 十八年十二月死 | |
| ▲世四 助高屋高助 | 十九年二月二日死 | 四十九歲 |
| ▲中村魁藏 | 十九年十一月廿一日死 | |
| ▲市川海老藏 | 十九年十一月十二日死 | |
| ▲世三 中村仲藏 | 十九年十二月廿四日死 | 七十八歲 |
| ▲世三 河原崎國太郎 | 廿年七月廿一日死 | |
| ▲尾上扇支 | 廿一年一月卅日死 | |
| ▲中村重藏 | 廿一年五月五日死 | |
| ▲市川團右衛門 | 廿一年十一月廿一日死 | |
| ▲岩井紫若 | 廿二年三月十一日死 | |
| ▲市川猿十郎 | 廿二年三月十九日死 | |
| ▲世四 關 三十郎 | 廿二年七月十日死 | |

- | | | |
|---------|-----------|------|
| ▲澤村由次郎 | 廿三年二月十九日死 | |
| ▲中村鶴藏 | 廿三年四月十一日死 | 六十歲 |
| ▲市川照藏 | 廿三年十二月死 | |
| ▲坂東彦十郎 | 廿五年五月七日死 | 五十二歲 |
| ▲中村鶴助 | 廿五年九月廿二日死 | 四十七歲 |
| ▲坂東家橘 | 廿六年三月十八日死 | |
| ▲岩井繁松 | 廿六年四月三日死 | 六十八歲 |
| ▲嵐 璃久三郎 | 廿六年七月十一日死 | 六十二歲 |
| ▲尾上芙蓉 | 廿七年八月廿一日死 | |
| ▲中村壽三郎 | 廿九年八月卅一日死 | 五十八歲 |
| ▲中村鶴五郎 | 三十年六月九日死 | |
| ▲尾上菊之助 | 三十年六月廿七日死 | 三十歲 |
| ▲市川新藏 | 三十年七月九日死 | 三十七歲 |
| ▲守田勘彌 | 三十年八月廿一日死 | 五十二歲 |
| ▲中村友吉 | 三十年九月七日死 | |

明治初年以來死者

▲市川左團次 卅七年八月廿七日死 六十三歲
 ▲坂東太郎 卅七年八月廿六日死 六十三歲
 ▲澤村訥茂五郎 卅七年八月廿八日死 十六歲
 ▲坂東飛鶴 卅七年十月六日死 四十歲
 ▲嵐みんじ 卅八年一月廿四日死 五十二歲
 ▲坂東玉三郎 卅八年二月十五日死 二十三歲
 ▲市川鯉升 卅八年六月十四日死 五十三歲
 ▲市川壽美右衛門 卅八年十一月廿日死 卅八年十二月廿七日死 卅九年十二月廿九日死 卅九年二月廿六日死 卅九年三月十一日死 卅九年四月十五日死 卅九年四月廿日死 卅九年五月三日死 五十一歲

▲市川壽美藏 卅九年五月八日死 六十二歲
 ▲市川升代 卅九年六月四日死 四十三歲
 ▲市川升藏 卅九年六月六日死 四十九歲
 ▲片岡市藏 卅九年十二月十一日死 五十六歲
 ▲大谷友代 卅九年一月四日死 三十七歲
 ▲岩井竹松 卅九年二月廿八日死 二十歲
 ▲市川荒次郎 卅九年七月二日死 五十八歲
 ▲中村銀之助 卅九年九月十八日死 二十七歲
 ▲實川正朝 卅九年十月十三日死 五十七歲
 ▲大谷馬十 卅九年十一月十四日死 四十年八月十六日死
 ▲中村もじほ 卅九年十一月五日死
 ▲新派之部 卅九年十一月五日死
 ▲三浦滿壽次郎 卅九年十一月五日死
 ▲恩田五郎 卅九年十一月五日死

俳優明鑑

▲尾上梅三郎 卅一年八月廿八日死 四十八歲
 ▲中村福芝 卅一年十一月十四日死 卅二年一月十六日死 七十歲
 ▲世四村芝翫 卅二年四月四日死
 ▲世四澤村田之助 卅二年六月廿二日死 五十一歲
 ▲尾上多賀之丞 卅二年八月廿四日死 卅三年一月死
 ▲助高屋小傳次 卅三年四月廿六日死
 ▲坂東三太郎 卅三年九月廿二日死
 ▲瀨川路之助 卅三年十月死
 ▲市川雷藏 卅三年十月死
 ▲坂東彌十郎 卅四年二月廿一日死 四十三歲
 ▲世三中村富十郎 卅四年二月廿一日死 四十三歲
 ▲坂東雛助 卅四年八月廿二日死 四十四歲
 ▲三升稻丸 卅四年十月十三日死 七十二歲
 ▲坂東喜知六 卅四年十月十九日死 五十五歲
 ▲坂東秀調 卅四年十月十九日死 五十五歲

▲市川幡谷 卅五年六月十九日死 卅五年九月十七日死 二十歲
 ▲澤村小主水 卅六年一月十五日死 四十二歲
 ▲坂東是朝 卅六年二月十八日死 六十歲
 ▲世五尾上菊五郎 卅六年四月卅日死 四十九歲
 ▲尾上菊十郎 卅六年七月十三日死 二十一歲
 ▲尾上菊松 卅六年八月死 五十二歲
 ▲岩井此糸 卅六年八月廿一日死 卅六年九月十五日死 卅六年九月十五日死 卅六年九月廿一日死 卅六年九月廿一日死 卅六年十月廿一日死 卅七年二月五日死 卅七年二月八日死 卅七年三月廿七日死 卅七年四月十三日死 四十六歲

▲ 松本 正雄	卅五年死
▲ 岩尾 慶三郎	卅六年七月四日死 三十六歲
▲ 小西 福一郎	卅六年死
▲ 野崎 三郎	卅六年死
▲ 本多 小一郎	卅八年十一月五日死
▲ 角 藤 定憲	四十年一月二十日死 四十歲
▲ 木村 周平	四十年三月十六日死 四十五歲
▲ 佐藤 幾之助	四十年五月死
▲ 兒島 文衛	四十年九月五日死 三十三歲
▲ 山口 定雄	四十年九月卅日死
▲ 清川 麗水	四十年十一月十日死 四十歲
▲ 宮古 紫郎	四十一年六月廿五日死 二十八歲
▲ 村上 良次	四十一年八月廿八日死 三十二歲
▲ 山岡 茹洋	四十一年十月十七日死 三十九歲

全國劇場案内

東京之部

▲歌舞伎座 京橋區木挽町三丁目

電話新橋 四二七番

社長 大河内輝剛 頭取 小川竹次郎
 顧問 三宅豹三 作者 榎本 破笠
 相談役 田村 成義 囃子頭 杵屋勘五郎
 大札 木村松次郎

◎定員一千八百人

(附茶屋) 電話番號 主人の氏名

- 三州屋 新 岡本しゆん
- 越前家 同 田村彦三郎
- 上總家 同 志春日井孫六
- 梅 林 同 板倉梅次郎
- 山 本 同 三益山本 なを
- (附茶屋) 電話番號 生人の氏名
- 武田家 新 八毛廣淵 どり
- 猿 屋 同 二益星野 勝二
- 菊 岡 同 二益鈴木 ふく
- 中村家 同 二益鹿田 けい

▲明治座 日本橋區久松町(電話浪花 七六番)

座主 高橋榮次郎 頭取 大谷門兵衛

興行人 河原崎權之助 作者 竹柴 其水

顧問 岡 嘉太郎 囃子頭 寶 三左衛門

◎定員一千二百八十人

(附茶屋) 電話番號 主人の氏名

(附茶屋) 電話番號 主人の氏名

- 中村家 浜 五三關根 ふく
- 武藏家 同 志北村 重藏
- 山 本 同 三益山本 清
- 尾張家 同 二益二合源兵衛
- 和泉家 浜 三益小川 寅吉
- 猿 家 同 三益鈴木 もと
- 花 家 同 七毛高田 梅吉
- 橋 本 同 三益木村 よね

▲東京座 神田區三崎町(電話本局二、四五〇番)

座主 鈴木金太郎 頭取 市川猿四郎

全 國 劇 場 案 內

◎大阪之部
南區道頓堀 中劇場
同 角劇場
同 辨天座
同 朝日座
南地 春日座
松島 八千代座
天滿 天滿座
北新地 福井座
いなり 文樂座
本町 本町座
九條 繁榮座
老松町 老松座
天滿 壽座
九條 末廣座
堀江 明治座
同 堀江座
◎京都之部
南座

京極 明治座
同 歌舞伎座
同 布袋座
同 夷谷座
同 大虎座
同 大黒座
西陣 岩神座
千本 朝日座
中竹座 千本座
福榮座 中竹座
猪黒座 福榮座
◎名古屋之部
△關東地方▽
◎東京府下之部
八王寺町 關谷座
青梅町 初音座
◎神奈川縣下之部
横濱市 羽衣座

御園座 末廣座
新守座 歌舞伎座
寶生座 寶生座
音羽座 音羽座
虎免富貴座 朝日座
大黒座 大黒座
千歳座 千歳座
京樹座 京樹座
笑福座 笑福座
廓座 廓座
◎埼玉縣下之部
浦和町 浦和町座
大宮町 大宮町座
熊谷町 熊谷町座
川越町 川越町座
◎千葉縣下之部
千葉町 千葉町座
佐倉町 佐倉町座
銚子町 銚子町座
木更津町 木更津町座
◎茨城縣下之部
水戸市 水戸市座
常盤座 常盤座

俳 優 明 鑑

頭取 市川三右衛門
◎定員一千人
(附茶屋) 電話番號 主人の氏名
□大和屋
▲常盤座 淺草公園第六區
電話下谷 一、七五五番
座主 根岸濱吉
◎定員
(附茶屋) 電話番號 主人の氏名
□喜の字屋 下二五五 後藤 ゆう
▲開盛座 淺草區七軒町
電話下谷 一、七三三番
座主 中村 彌一 作者 若松 信乃
頭取 遠井優三郎 囃子頭 岡安喜久三郎
◎定員一千〇八十人
▲柳盛座 淺草區向柳原町
電話下谷 二、五五三番
座主 福島 佐吉 頭取 市川 松壽

作者 竹柴 扇二 囃子頭 杵屋良之助
◎定員一千百人
(附茶屋) 電話番號 主人の氏名
□福しま 福島 作吉
▲三崎座 神田區三崎町三丁目
電話本局 二四六番
座主 山越しげ 作者 竹柴 萬次
代表者 横田 保 囃子頭 岡安喜久三郎
◎一千二百二十三人
(附茶屋) 電話番號 主人の氏名
□吉 本本 眞山城 忠吉
△有樂座 麴町區數寄屋橋内
電話本局 一、六七二番
取締役 伯母 柳澤 保惠 支配人 新免 彌繼
會長 柳澤 保惠
主演 土肥 庸元
◎定員八百人

△甲信越地方▽

◎山梨縣下之部

櫻座

巴座

若松座

◎長野縣下之部

千歳座

三幸座

東村座

中村座

末廣座

曙座

明治座

開明座

曙座

若松座

歌舞伎座

飯田町

松本市

上田町

長野市

赤穂町

坂下町

上諏訪町

◎新潟縣下之部

茶本座

島田座

壽座

改良座

國粹座

長盛座

長岡市

三條町

新發田町

相川町

高田町

直江津町

大漁座

旬街座

◎静岡縣下之部

清水港

沼津町

見附町

興津町

三俣町

濱松町

磐田座

若竹座

千鳥座

熱海町

掛川町

下田港

中泉町

熱田町

◎愛知縣下之部

照日座

熱田座

蓬田座

東雲座

豐橋座

彌生座

寶來座

歌舞伎座

若松座

濱松座

磐田座

岡崎町

一ノ宮町

龜崎町

半田町

知立町

西尾町

國府町

津島町

枇杷島町

大野町

淺井町

豐川町

新城町

三谷町

犬山町

三河御油驛

布袋町

布袋座

相生座

惠比壽座

新富座

豐川座

日出座

壽座

新富座

藤浪座

霞座

梅盛座

壽座

妙見座

千歳座

彌生座

寶來座

歌舞伎座

東座

千歳座

妙見座

壽座

梅盛座

霞座

藤浪座

新富座

日出座

壽座

豐川座

新富座

惠比壽座

△奥羽地方▽

◎群馬縣下之部

前橋市

結城町

太田町

石岡町

土浦町

鈴木座

朝日座

歌舞伎座

柳座

敷島座

高崎市

富岡町

同

同

桐生町

伊勢崎町

太田町

◎栃木縣下之部

宇都宮市

小山町

日光町

足尾町

同

栃木町

同

太田原町

佐野町

鹿沼町

今市町

足利町

真岡町

田沼町

大川座

日光座

以呂波座

金田座

旭座

明治座

錦座

萬座

大仁座

千歳座

末廣座

寶來座

龜鶴座

◎福島縣下之部

福島市

白河町

郡山町

二本松町

若松市

中村町

三春町

◎宮城縣下之部

仙台市

◎岩手縣下之部

盛岡市

石巻町

鹽竈町

一ノ關町

新開座

清水座

共榮座

若松座

三春座

森民座

仙臺座

松島座

内丸座

佐々木座

磐井座

水澤町

宮古町

◎青森縣下之部

青森市

弘前市

◎秋田縣下之部

秋田市

能代港

橫手町

◎山形縣下之部

山形市

米澤市

新庄町

酒田町

鶴岡町

朝日座

中村座

青森座

松盛座

花盛座

榎木座

秋田座

能代座

朝日座

米澤座

雑報

◎東京俳優組合の事 同組合事務所は神田區五軒町二十番地に在り、現在組合役員は左の如し。

- 頭取 中村芝翫
- 副頭取 尾上梅幸
- 評議員長 澤村訥子
- 評議員 市川八百藏
- 澤村宗十郎
- 市村羽左衛門
- 市川小團次
- 市川猿之助
- 市川左團次
- 市川高麗藏

◎東京新派俳優組合の事 當組合は近頃東京俳優組合より分離せしものなるが正、副頭取の外委員は確定

せされども何れ左の諸氏の内より選定せらるるべし

◎演藝通信社の事 同社は演藝に關する事細大なる各新聞社に通信する、劇界にては誠意に缺くべからざる絶好の機關と云ふべく、地方俳優諸氏が東京に出で旗揚げせんとするものは先づ同社を訪問するが萬事好都合ならん。事務所は淺草區旅籠町に在り、主幹は都新聞記者緑水小出榮太郎氏なり。

◎俳優養成所の事 俳優養成所に二種あり一ツは東京俳優養成所と稱し假教場(目下)を牛込區西五軒町三十四番地(江戸川端)に在りて藤澤俳次郎の主幹なり一ツは川上貞奴の主幹にて芝區櫻田本郷町十七番地に教

頭取 藤澤淺次郎
副頭取 喜多村綠郎

場ありて帝國女優養成所と稱す、前者は男優の養成所にて後者は女優養成に限る事勿論なり。

頭髮の練香油に付き

伊井蓉峯談

△多數婦人集會の場所などに一種の臭氣があつて折角の蘭麝の薫り粉黛の香も爲めに其美しさを失ふのが常なのです、これは言ふ迄でもなく日本婦人が使用しつゝある在來の油の臭氣で先年來油氣の少ない東洋の多く行はれそれに衛生思想も漸次發達して今日では此臭氣も自然薄らぎましたと云ふもの、矢張り中流以上の婦人の會合場などにこの悪臭の放散さるゝこと決して絶無とは云はれませんが況して昨今は九輪が非常に殖へた様に見受けられ且つ束髪には油を付けないものと思つて居りましたのは既で昔の話し聞けば西洋婦人も色々髪油を用ひること固より頭髮へ適宜良い油を用ふるのは營養上必要な事で正に然かあるべき筈でし

よう。そこで私が責任を以てお勤めするのは日本橋は濱町一丁目平尾分店で發賣する「パール」であります。「パール」は實に完全な練香油として賣出し以來愛用して居ますが、私の實驗上の效能をお話しますと第一コスメチック、ハンドリンまたすき油等の代用になる事、言はれぬ掬すべき香氣があつて断じて在來のすき油の様に腐敗の恐れがない事、頭の毛、髭鬚を綺麗にする事、尤も私にはヒゲはありませんけれども………兎に角く毛髪を和げ悪い癖を矯すなどは此「パール」の特色で現んに私の妻なども「パール」を使つちやア他の油は用ひられませんが常にいつて居ります、私は確かに此「パール」は舶來品に勝ることも劣らない品であると断言するに躊躇しないので。

しかしいくら良い香油だと言つても限りなしに「パール」ばかりつけて居ても困ります。たまには微温度の軟水で生玉子、乃至グリッピンと少量の石灰汁とを水に溶かしたもので洗ふのも肝腎です。(杉浦記)

日本に於ける佛蘭西化粧

川上貞奴談

今日は佛蘭西殊に巴里の婦人が爲る化粧を本邦では如何に倣たら宜いかと言ふ事をお話致しませう。御承知の通り世界流行の中心と言はれる丈あつて、萬事が進んで居ます中にも、男女化粧の法は最も進んで、妾が彼地へ参ります度に毎も驚くのでいます、先づ彼地の人がお化粧をするのは自分を美しくすると言ふ丈ではないので、一は親から貰つた完全の身體と天然の美を毀損しないと言ふ孝心と、一は他人に對して汚穢い奴と擯斥されぬ爲めの社交心とからで、自然化粧をして美を保つと言ふ事に注意を怠りません、此點は本邦の人々にも學ばせたい美風かと存じます。

そこで巴里の人達は、多くの化粧品を使ふ前に、必ず皮膚を消淨にしますのは、本邦の御婦人が御手水を使ふのと同じ道理ですが、彼地では普通の湯水では

なく、牛乳を四倍程の水に割つて、之を微温湯にしまして、それへ二十分間位入つて、其湯をタオルに浸して顔へ宛て、蒸すやうに致しますが、是は牛乳が皮膚に効能のある爲めに、自然と毛孔が和かく明いて、汚れが取れます上に、營養分が注入しますから、身體皮膚の色澤が宜くなつて、自然の美しさが増すので、佛蘭西美人の世界に冠たる原因は此處に在るのだと申す事でいます。

是よりも以下になりますと、顔面丈を牛乳で前の牛乳浴のやうに致す人もありますが、本邦へ歸つて参りましては、逆も牛乳浴など申す贅澤も出来なければ、牛乳で顔を洗ふといふのも仰山らしいので、却々實行出来ませんから、随分と不自由に思ひました處が、先頃或るお客様から平尾贊平さんの處で發賣の乳白化粧水レットは、今評判の好い化粧水で、佛蘭西の牛乳浴から思ひ付いて、簡便で牛乳浴以上の効能がある品だと言ふから、使つて見よと被仰つて届けて下さいました

ので、本邦にもこんな進んだ品があるかと思ひまして、試しに使ひました處が、匂ひといひ使ひ心地といひ、實に見たこともない程の逸品で、何でも原料に牛乳の成分と皮膚劑とが主になつて、高貴な芳香を配伍で、恰と佛蘭西の牛乳浴の効能ある部分を一瓶に縮めたもので、牛乳浴に馴れた者でも、之を代用する事が出来る上に、化粧水だけに奥床しい香氣もあれば白粉下にもなりますので、一番重寶な進歩した化粧品かと存じます。

それで妾は歸朝以來、始めて如斯逸品を得ましたので、洗顔のときにも入浴のときにも、必と此のレットを滴して入り、浴後には必と此のレットを出來るだけ身體皮膚の全部に塗るので、まあ本邦で佛蘭西式の化粧の出來ますのはレットのお蔭でせう。(伊坂梅雪記)

齒牙の養生 (續三記)

川上音次郎氏談

齒牙は人生の源泉たる食物を胃に送る唯一の機關で健全な齒と不健全な齒とは自然の間に人間の壽命を支配する恐るべき力を有て居るので、嘗て某紙に長壽者の實驗談として第一齒牙の養生を二六時中怠らなかつたことを紹介されそうしてダイヤモンド齒磨で朝晩適度に磨いたこの事は既に世人の知る處で、開明の今日齒牙の保全を今更の如く喋々も變ですが、私は敢てシャベルです、シャベルです、大いにシャベル理由があるのです、大きな聲では申されませんが、齒が黄黒で口中に言ふべからざる悪臭がある人が彼處、個處に數へ切れない程あります、己れは鬼も角く他人の迷惑は甚だしいです、原因は大概食物の糟が齒の間に残り口中の熱と濕氣で腐敗菌を生ずるので宛然パチルスに住家の如き観があり是等が延いて取返しつかない

い病氣を惹起した例は百、千、萬にして足らないので
 す嗚呼實に嘆しい次第ではありませぬか、尤も馬鹿で
 ない限り二十世紀の今日齒の大切位は誰も知らぬ人は
 ない筈ですが人と云ふものは目前に直接の利害關係が
 明かでないものに對しては充分に是非を辨へながら入
 分の實行を期し難いものですから是非其後と言はず今
 直から精確な殺菌消毒が施してあるダイヤモンド齒磨
 で齒の裏表を丁寧に磨いて欲しいのです、私しがダイヤ
 モンド齒磨を特に御紹介すると云ふのもダイヤモンド
 齒磨が日本齒磨中最古の歴史を有し常に品質を改良又
 改良し依然齒磨中のオーソリチーとして最も多くの愛
 用者を有し其實質に於てもダイヤモンドの名に背ず光
 耀たる不斷の彩火を認めて居るからです。

明治四十二年五月二十三日印刷
 明治四十二年六月一日發行

排優明鑑

定價金壹圓

編輯者 杉浦善三

發行者 遠田松右衛門

印刷人 神谷岩次郎

印刷所 東京印刷株式會社

不許複製

東京市本郷區湯島四丁目五番地

發行所

演藝俱樂部

高尚優美

登錄商標

三越あらい粉

本舖 東京 六華商會

特約發賣店 中喜商店
東京市日本橋區横山町二丁目

御料
御園白粉

畏き遠りの
御料に召させ給ふ
高貴御化粧料

製造本舖 胡蝶園
東京日本橋區橋本町四丁目
發賣元 丸見屋商店

おり製 御園白粉
水製 御園白粉
こま製 御園白粉
洋化粧クレーム 御園の膏
高貴化粧水 御園とき水
河敷香りの花水 御園なでこ
濃化粧水 四季の花
高貴香水 御園香油
高貴香水 御園香水
高貴歯磨き 御園歯磨

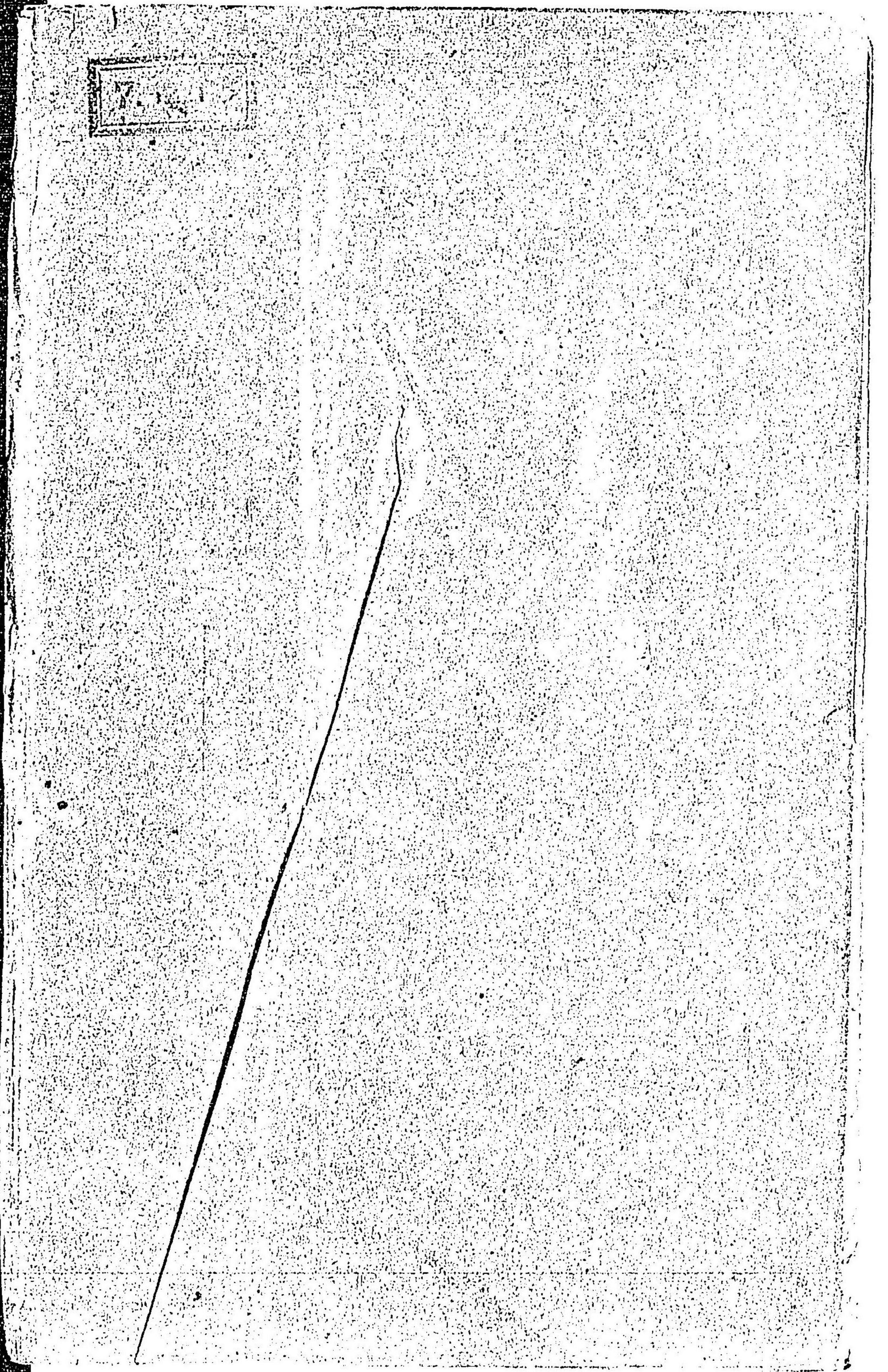
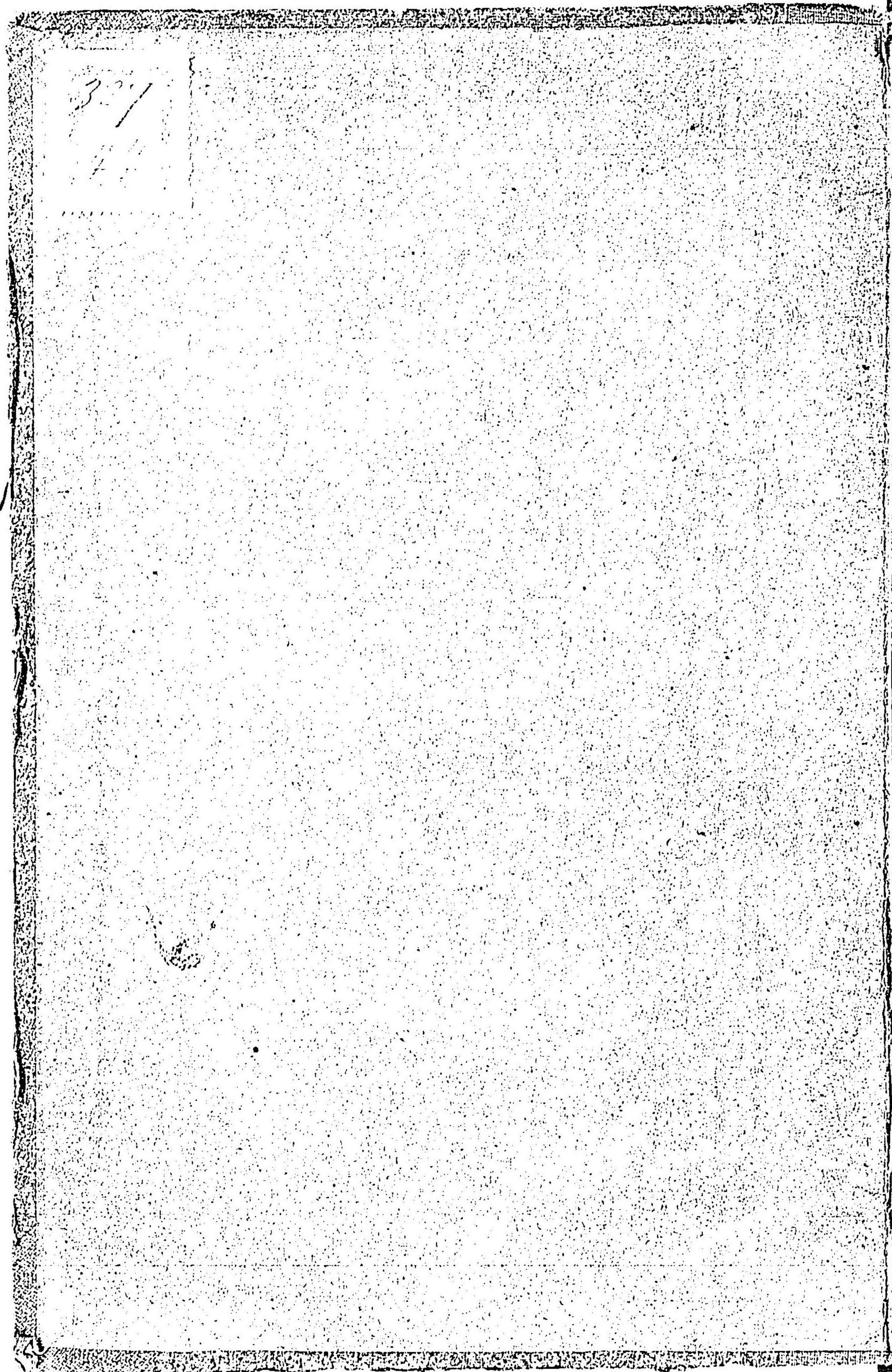
韓國御用 木マルシ后驗

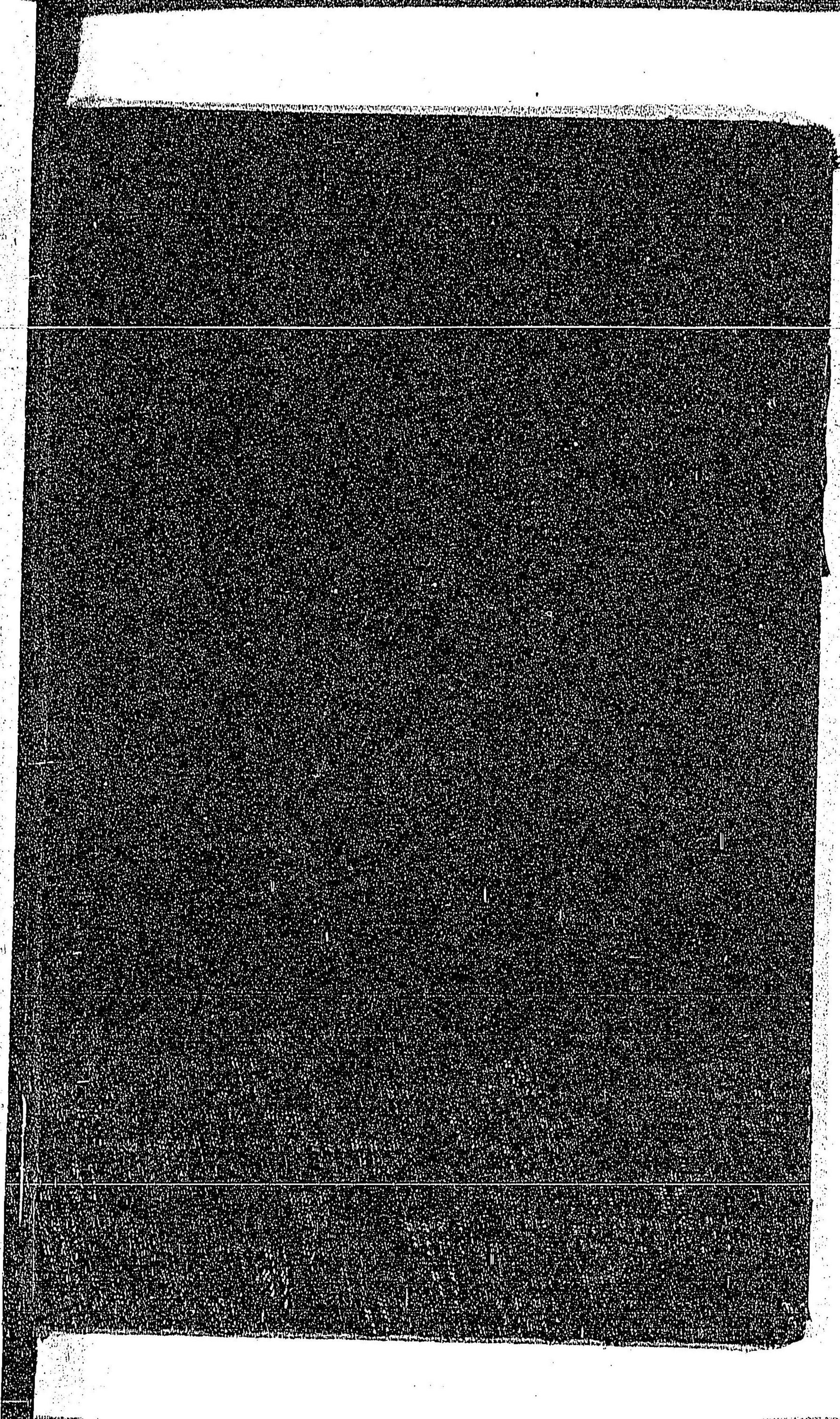
花園遊歩が如き
思ひあらしむ

Formalin Soap

東京日本橋本区本町三丁目
新腸胃薬 合資会社 製造販売
丸田

丸田 圓城商塵





327

44

074883-000-7

327-44

俳優明鑑

杉浦 善三/編

M42

CEK-0312

